平成二十七年度　吹田支援学校　**小中学部**　卒業式　式辞

　いよいよ卒業の日になりました。今、卒業証書をお渡しいたしました、小学部八名、中学部二七名の皆さん、卒業おめでとうございます。子どもたち自身はもとより、保護者の皆様は、これまでのことを振り返り、お喜びもひとしおのこととご推察申しあげます。教職員一同も、立派に成長している姿を本当に嬉しく思っております。

　さて、小学部の皆さんは、ことばやかずの勉強等から、人の話を聞き、自分の気持ちを伝え、自分のことは、自分でできるようになったと思います。中学部の皆さんは、教科の学習で知識を増やし、集中して取組むことができるようになったと思います。

更に、朝のランニングで体力をつけ、行事では、自分の力を出し切る大切さや、人前で発表するルールの難しさも学びました。

　ところで今年はオリンピックの年、そしてTOKYO2020迄後四年です。今の君たちにとっては、オリンピックは遠い存在かもしれませんが、パラリンピックやスペシャルオリンピックスも知り、じっくり・しっかり成長して欲しいのです。四月からは、ひとつお兄さん、お姉さんになることに嬉しいなと思うとともに、様々なことにチャレンジしてください。大切なことは、繰り返してみることです。最初から出来る人なんていません。繰り返しチャレンジして、出来るようになることはいっぱいあります。勇気を出して、根気よく、あきらめないことが秘訣です。

さて、本日本校小中学部卒業式にご臨席のご来賓の方、関係機関の方々、ご多忙の中ありがとうございます。又平素からの本校の教育活動へのご支援に対しまして、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申しあげます。

　最後になりましたが、これまで様々なご苦労を乗り越えられ、我が子を支え育まれてこられた保護者の皆様におかれましては、重ねて心から敬意を表しますとともに、これからも卒業生を含め、本校への温かいご理解をお願い申しあげます。それでは、卒業生のみなさんのご多幸と次の進路先での充実した学校生活を願いまして、私の式辞とさせていただきます。

平成二十八年三月十五日

大阪府立吹田支援学校　校長　　奥野　喜之